



災害、その時

誰の顔が浮かびますか

9月25日(水)

13:00～15:00

北上市役所本庁舎
5階第1会議室

～災害ケースマネジメントを通して、横のつながりを考える～

東日本大震災

能登半島地震

豪雨

被災者支援

協働

重層的支援

横のつながり

多機関連携

コーディネーター

昨今、社会課題の多様化や担い手不足が叫ばれ、「横断的な連携」やその調整・コーディネートが必要になる機会が増えています。

想像してみてください。今、災害が起きたら、あなたはどんな役割を担いますか？その役割を果たすために、誰と協力して行いますか？誰の顔が浮かびますか？

福祉、医療、地域、住まい、交通、教育、産業、労働、ごちゃまぜで東日本大震災や能登半島地震の支援の現場のお話を伺いながら、北上の「もしも」に生きる「つながり」をぜひ一緒に考えましょう！

くらしの支援や
多分野との連携に
関わる方

先着 **40** 名

申込みはQRから



または担当へ

ゲスト
菅野拓さん

大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授。臨床の社会学者。専門は人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策。福祉領域だけでは解決できない様々な課題に対する研究をもとに、各地域における協働や地域支えあい等の研修会の講師も務めている。

お問い合わせ

令和6年度 生活困窮者支援等のための地域づくり事業 実施要領 ～横のつながりを考えるプラットフォーム“ハブラボ”の展開～

1 目的

福祉分野をはじめ、暮らしにまつわる多分野・多職種等が集まり、学び、対話する機会を創出し、顔の見える関係づくりを行うことで、重層的支援体制の基盤を構築するとともに、新たな気付きを得て地域に還元し、社会資源の掘り起こしや創出に資することを目指すもの。

2 第1回のテーマ

災害、その時 誰の顔が浮かびますか ～災害ケースマネジメントを通して、横のつながりを考える～
《趣旨》

重層的支援体制のポイントでもある「タテワリをこえる連携」は、どの分野でも必要とされつつあります。もちろん大切なのはわかっているけれど、日々の業務では必要最低限で精いっぱい…というのが現実ではないでしょうか。

それでも、連携をしなければならない「有事」は多かれ少なかれやってきます。その一つが「災害」です。

災害時は、あらゆる問題があらゆる分野で発生し、複雑に絡まっていきます。東日本大震災でこれを経験している方も多くいるはずですが。

想像してみてください。もし今、災害が起きたとき、あなたはどんな役割を担いますか？また、その役割を果たすために、誰と協力して行いますか？誰の顔が浮かびますか？

今回の「ハブラボ」では、東日本大震災をはじめ、今年1月に発生した能登半島地震などの災害において、どのようなつながりや連携が生かされたのか、また、災害の発生から福祉、産業（仕事）、教育（学校）などの「暮らし」への移行について学び、平時から必要な「つながり方」を考えます。

3 対象（北上市にお住まいの方、お勤めの方、どなたでも）

- (1) 「災害ケースマネジメント」に興味のある方
- (2) 「連携促進」「多分野」「多機関」「横断」に関わる仕事を持っている方
- (3) 東日本大震災・能登半島地震に関わっていた方、関心のある方

4 日時・場所

日時 令和6年9月25日（水）13：00～15：00

場所 北上市役所本庁舎5階第1・2会議室

5 内容

- (1) 話題提供（菅野拓さん）
- (2) 参加者による意見交換（感想の共有など）

6 講師

菅野 拓 さん

大阪公立大学大学院 文学研究科 准教授。臨床の社会学者。

専門は人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策。

東日本大震災発災直後からパーソナルサポートセンターにて仙台市と協働し、被災者生活再建支援事業・生活困窮者自立支援事業を立ち上げ、現在は理事。

福祉領域だけでは解決できない様々な課題に対しての研究をもとに、各地域における協働や地域支えあい等の研修会の講師も務めている。

7 参加申し込み

Webフォームによる申し込み、または担当へ直接申し込み ※先着40名

URL（インターネット）<https://logofom.jp/f/gTOAI>

8 駐車場

・市役所本庁舎の駐車場をご利用ください。

9 問い合わせ先（担当）

北上市福祉部地域福祉課 福祉企画係 瀬戸

電話：0197-72-8213（直通）

メール：saki1688@city.kitakami.iwate.jp または fukushi@city.kitakami.iwate.jp